



自由党
LIBERAL PARTY

衆議院議員

玉城デニーPRESS

自立と共生

ひたむきに沖縄

Vol.43



◆2017年6月23日、72回目の「慰霊の日」を迎えました。



6月23日「慰霊の日」、玉城デニーは「沖縄全戦没者追悼式」、「戦時遭難船舶犠牲者の慰霊祭」において全戦没者の鎮魂と世界の恒久平和を祈るとともに、沖縄戦から基地集中の現状と未来の平和を考える契機とする「連合2017 平和オキナワ集会」に出席いたしました。

軍民あわせて20万以上の人々が犠牲となった沖縄戦から72年の月日が経ち、特に今年は復帰後45年目の節目を迎えました。しかし、平和を求め続ける沖縄の想いとは裏腹に、日本全体の0.6%の土地に米軍基地が集中する現状は今日も変わらず、それゆえに起こる

事件・事故は後を絶ちません。戦時遭難船舶につきましても、その遺族に対する補償はおろか実相・全貌の解明も未だ行われていない現状にあります。

72年経ってもなお「戦後」を迎えることができない沖縄の現状を変え、真の平和を実現すべく、玉城デニーはこれからも県民に寄り添う国政の実現に尽力いたします。



◆ハンセン病患者の追悼式典に参列しました。

去る6月22日、玉城デニーは厚生労働省が主催する「国の強制隔離政策でハンセン病療養所に収容されて亡くなった患者らについて、名誉を回復し、追悼する式典」に参列し、黙祷・献花をいたしました。

戦後、ハンセン病患者を強制隔離した「らい予防法（昭和28年8月15日施行－平成8年廃止）」により、多くの患者や元患者の方々が厳しい偏見や差別を受けながら亡くなられ、いまなおその苦しみは消えることはありません。

このことから厚生労働省は平成21年より6月22日を「らい予防法による被害者の名誉回復および追悼の日」として式典を開いており、本年も元患者や遺族が出席し、「追悼の碑」に献花しました。

名護市には国立療養所沖縄愛楽園があり、ハンセン病問題の解決を目指す超党派の議員連盟に所属する議員としても、玉城デニーは引き続き被害患者やその家族、ご遺族の名誉回復と万全な療養態勢の確保に全力で取り組んでまいります。



ご報告！！

☆那覇市議会議員選挙(7/9投開票)、自由党県連としておふたりの推薦を決定致しました☆

○はなしろ正樹(民進党) ○清水マオ(民進党)

★年間を通して党員・サポーター及びボランティアを募集しています！

～このプレスの配信停止やご意見などございましたら、ご連絡をお願い致します～
平成29年6月28日発行：衆議院議員 玉城デニー事務所（担当：宮城・喜久村）

TEL.098-929-2416 FAX.098-929-2005